

1 募集定員（見込み）

総合学科 3名程度

※ 募集定員は11月上旬に決定し、発表する予定です。

2 応募資格

- (1) 本校を志願する動機や目的が明確である者
- (2) 基本的な生活習慣及び学習内容が中学校3年間を通して十分身に付いている者
- (3) 将来に向けた夢や目標を見つけるために、様々なことにチャレンジし、その実現に向けて努力しようとする者
- (4) 自分との対話、また自分を取り巻くあらゆるものごととの対話を重ねる中で、自ら課題を見つけ、自ら学ぼうとする意欲を持つ者
- (5) 実習・実験を通して自分の個性を伸ばし、社会課題の解決に向けて、自ら進んで学習に取り組もうとする者
- (6) 「身元引受人」が確保できる者

※ 身元引受人とは、生徒の健康、食生活および日常の生活に関する見守りを行い、生徒の状況を保護者や学校と共有する等の役割を担う方です。基本的には山梨県内に居住する親戚等を想定していますが、該当する方がいない場合は学校にご相談ください。

3 選抜方法

- (1) 出願の条件

条件B 応募資格に一致するとともに、スポーツまたは文化活動において顕著な実績を有し、入学後も継続して意欲的に活動する意思がある者

【本校の指定する部活動】 スケート部（男女）、馬術部（男女）

- (2) 面接

実施のねらい	実施形態等	検査時間
志望動機、興味・関心・意欲、多彩な能力、社会課題に対する関心を確認する。	個別面接	10分程度

- (3) 本校で定める検査

検査方法	検査内容
特技	実績を証明する「活動実績報告書」等による書類審査を行う。

- (4) 選抜資料比重

区分	調査書	面接	所見	特技
総合学科 条件B	35	30	5	30

※調査書の「学習の記録」「特別活動の記録」等については第1学年から第3学年までを対象とし、「学習の記録」については、各学年の成績を平等に評価し、国語、社会、数学、理科、英語については評定をそれぞれ2倍、その他の教科の評定を1倍する。

- (5) 提出書類等

- ①提出書類 独自様式「活動実績報告書」

※中学校3年間の活動を通して、大会等の実績がない場合は、「活動実績報告書」の代替として、別紙様式「活動実績等証明書」の提出ができる。

- ②添付書類 活動実績を証明する書類の写し（賞状、新聞記事等）

- ③書類の入手方法 本校ホームページからダウンロードできる。

4 学生生活のサポート

本校には学校の寮はありませんが、住居の提供に協力してくれる下宿先があります。食事は3食とも提供があり、提供者家族が同じ建物に居住し、日常の生活や健康の相談に応じてくれます。

5 学校の特色

【特色その1】「多様な進路実績」

本校は総合学科と普通科を併せ持つ高校です。両科とも生徒の進路目標は国公立大学進学から就職まで多岐にわたっているため、それぞれの目標や習熟度、取得資格に応じた多彩な科目を開講し、早期から就職指導、面接・小論文対策等を実施することにより、生徒の幅広い進路に対応した指導を全校体制で行い、進路実績を挙げています。取得資格に関しても漢検・英検・数検はもちろん、農業・商業・情報・福祉など、普通高校よりも幅広く充実していることが特徴です。

【特色その2】「幅広い選択科目ときめ細かい指導」

総合学科とは、普通教育と専門教育の両方を総合的に含む科目群を選択履修できる学科のことです。本校にはスペシャリストを育てるための4つの系列（生物資源、環境工学、総合情報ビジネス、福祉ライフデザイン）があります。1年次に自分の興味や適性を見極め系列を選択し、2年次から各系列に分かれて、自分の目指す将来像に応じた多様な専門科目と普通科目の中から必要な科目を選択し、自分の時間割で学びます。興味ある他系列の科目を選択することもできます。地元企業との連携など地域に根差した活動を通して、将来地域で活躍できる力も育成しています。

【特色その3】「恵まれた環境」

光をふんだんに取り入れた明るく木の香り豊かな広い校舎、1階に武道場を備えた体育館、第1・第2・第3グラウンド、全天候型制御温室を持つ農場など北の杜の自然豊かな環境の中、これらの充実した施設で毎日多彩な授業に取り組むことができます。

6 スケート部、馬術部の全国レベルの実績

スケート部(男女)と馬術部(男女)は、山梨県公立高等学校運動部強化指定校に指定されています。

スケート部は、前身の峡北高等学校から創部以来100年以上の歴史を持ち、「全国高等学校スケート競技選手権大会（インターハイ）」に第1回大会以来連続73回出場し、過去に学校対抗準優勝2回、個人種目では多くの選手が全国優勝の実績があります。また、世界ジュニアスピードスケート選手権にも出場し、世界を舞台に戦う選手も輩出しています。

馬術部は、創部40年の歴史を持ち、学校で複数の馬を所有・飼育しています。学校の広大な敷地には自由に練習ができる馬場があり、全国でも数少ない恵まれた環境で活動しています。高校から馬術競技を始める部員もたくさんいますが、学校の馬場で練習を積み、全日本高等学校馬術選手権大会、国民体育大会において団体、個人ともに全国優勝を成し遂げています。